

データで見る! さっぽろ経済の動き

札幌の景気は、今どのような状況にあるのでしょうか？

「データで見るさっぽろ経済の動き」では、最近の札幌市や北海道の主な景気指標を時系列にまとめ、データやグラフを交えて、経済の動きを分かりやすくお伝えします。








◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1. 最近の札幌経済の概況	p. 1
2. 主要経済指標の動き	p. 2
(1) 個人消費の動向	p. 2
(2) 住宅着工の状況	p. 5
(3) 鉱工業の生産動向	p. 5
(4) 公共工事の動向	p. 6
(5) 雇用情勢	p. 6
(6) 倒産状況	p. 7
(7) 観光客の動向	p. 7
3. 札幌の産業規模のまとめ	p. 8
(1) 人口の動向	p. 8
(2) 事業所、従業員の動向	p. 10
(3) 市内総生産、市民所得	p. 11
(4) 企業の景況感	p. 12
【参考】主要経済指標	p. 13

1. 最近の札幌経済の概況

令和5年1月-令和5年2月の統計データをもとに、札幌経済の概況を総括しています。

(1) 主な経済指標の動向

項目	概要	前年同月データとの比較
個人消費の動向 (p.2~4)	<ul style="list-style-type: none"> 1月の百貨店・スーパー販売額(札幌市)は438億円で、11か月連続で前年同月を上回る(+10.3%)。 1月のコンビニ、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの販売額の合計(北海道)は975億円で、14か月連続で前年同月を上回る(+6.0%)。 1月の新車登録台数(札幌運輸局管内)は6,841台で、5か月連続で前年同月を上回る(+16.9%)。 	(百貨店・スーパー販売額) 397億円→438億円  (コンビニ、家電、ドラッグストア、ホームセンター販売額) 919億円→975億円  (新車登録台数) 5,850台→6,841台 
住宅着工の動向 (p.5)	<ul style="list-style-type: none"> 1月の新設住宅着工戸数は、506戸となり、3か月振りに前年同月を上回る(+9.1%)。 	(着工戸数) 464戸→506戸 
鉱工業の生産動向 (p.5)	<ul style="list-style-type: none"> 1月の鉱工業生産指数(北海道)は、81.6(季節調整済)となり、3か月連続で前月を下回る(▲0.6%)。 	(生産指数: 季節調整済) 82.1→81.6 ※ 
公共工事の動向 (p.6)	<ul style="list-style-type: none"> 2月の公共工事請負額(石狩管内)は、24億円となり、4か月連続で前年同月を下回る(▲50.4%)。 	(請負額) 48億円→24億円 
雇用情勢 (p.6)	<ul style="list-style-type: none"> 2月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.96となり、20か月連続で前年同月を上回る(+0.08ポイント) 	(有効求人倍率) 0.91→0.96 
倒産状況 (p.7)	<ul style="list-style-type: none"> 2月の企業倒産件数(札幌市)は、5件となり、前年同月から2件減少した。負債総額(札幌市)は、12.9億円となり、前年同月と同額。 	(倒産件数) 7件→5件 
観光客の動向 (p.7)	<ul style="list-style-type: none"> 2月の来道客数(北海道)は91万人となり、16か月連続で前年同月を上回る(+141.9%)。 	(来道客数) 37万人→91万人 

※鉱工業生産指数は前月データとの比較

(2) 参考(他機関の概況判断)

項目	全国の動向	北海道の動向
	内閣府「月例経済報告」 (令和5年3月22日発表)	北海道経済産業局 「管内経済概況」 (令和5年3月16日発表)
全体	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直しの動きがみられる
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している
住宅投資	底堅い動きとなっている	持ち直しの動きに弱さがみられる
設備投資	持ち直している	増加している
生産	<u>このところ弱含んでいる</u>	弱い動きとなっている
公共投資	底堅く推移している	減少した
雇用情勢	持ち直している	緩やかに持ち直しの動きがみられる
企業倒産	低い水準であるものの、このところ増加がみられる	件数は減少、負債総額は増加した
観光	—	緩やかに改善している

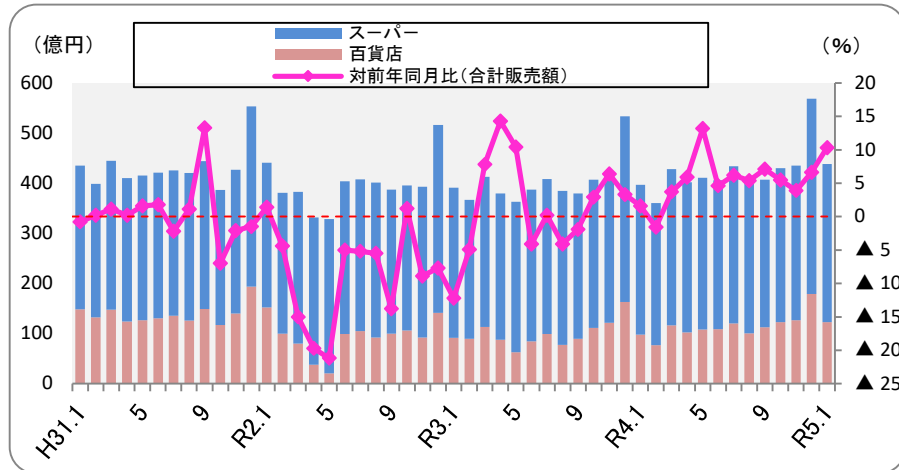
※下線部は、前月から変更となった部分

2. 主要経済指標の動き

個人消費、雇用状況、倒産の状況など、最近の主要経済指標の推移をご紹介します。

● 個人消費の動向（その1）

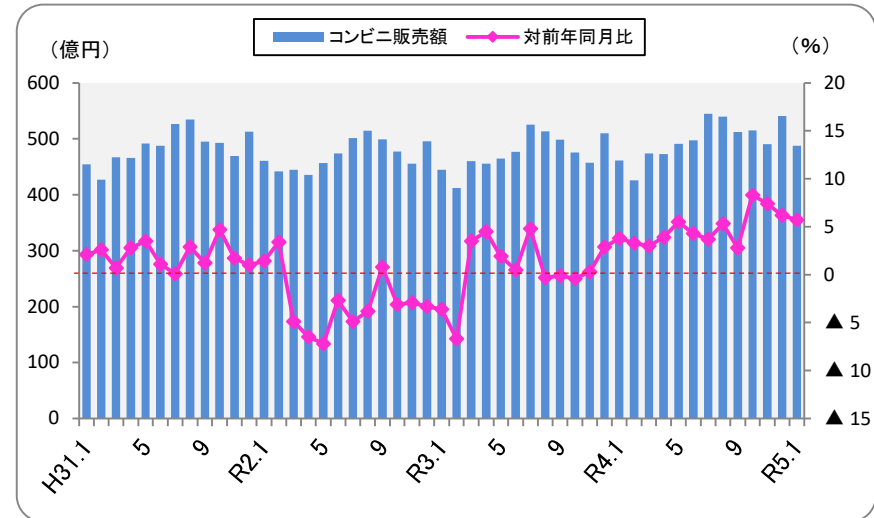
【図1】百貨店・スーパー販売額の推移(札幌市) 1月分



* 品目別百貨店・スーパー販売額前年同月比(札幌市) (%)

	合計				
	衣料品	身の回り品	飲食料品	その他	
合計	10.3	25.4	23.5	6.3	12.6
百貨店	25.3	27.5	26.3	19.2	29.0
スーパー	5.4	17.7	11.5	4.8	5.6

【図2】コンビニ販売額の推移(北海道) 1月分



<資料>北海道経済産業局

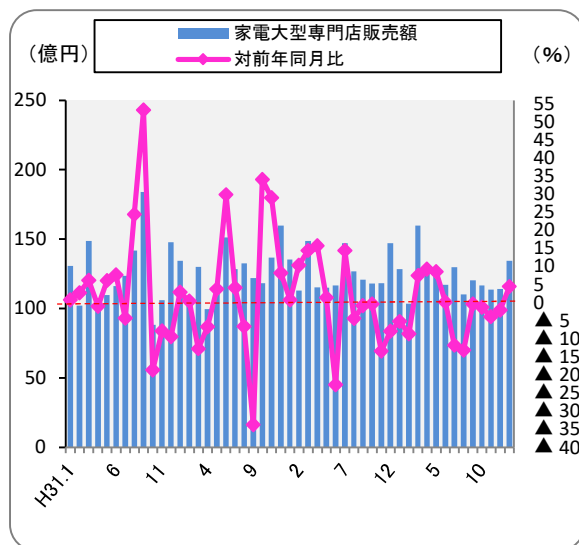
<資料>北海道経済産業局

- 令和5年1月の百貨店・スーパー販売額(札幌市)は438億円で、11か月連続で前年同月を上回りました(+10.3%) (図1)。業態別では、百貨店(+25.3%)、スーパー(+5.4%)とも前年同月を上回りました。品目別では、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他の全ての項目で前年同月を上回りました。
- 令和5年1月のコンビニエンスストア販売額(北海道)は488億円で、15か月連続で前年同月を上回りました(+5.7%) (図2)。

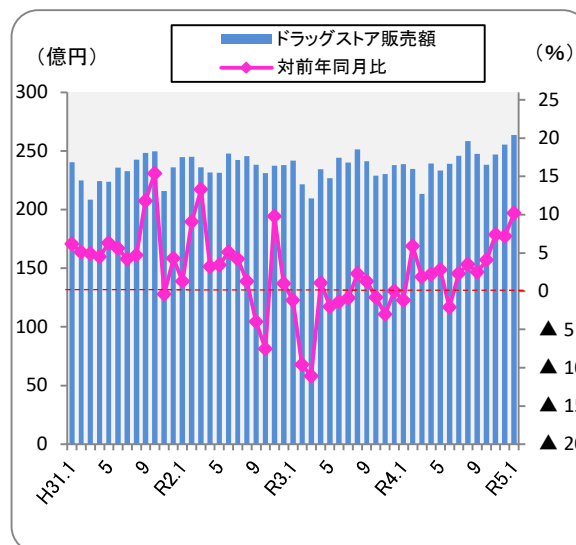
※百貨店スーパー販売額については、令和2年3月に対象事業所の見直しを行ったため、対前年同月比の数値調整を行っています。

● 個人消費の動向（その2）

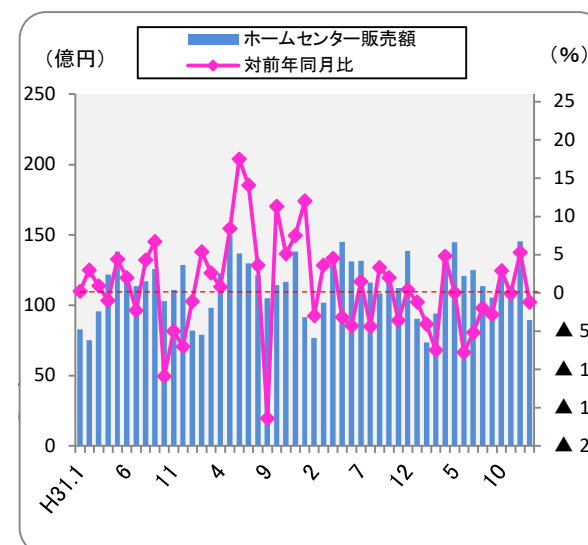
【図3】家電大型専門店販売額の推移（北海道）
1月分



【図4】ドラッグストア販売額の推移（北海道）
1月分



【図5】ホームセンター販売額の推移（北海道）
1月分

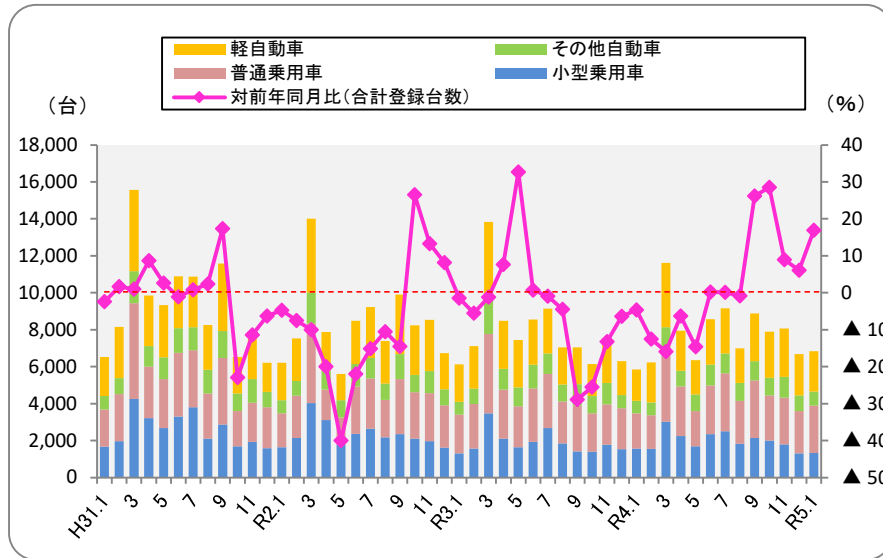


<資料>北海道経済産業局

- 令和5年1月の家電大型専門店販売額（北海道）は、134億円で、7か月振りに前年同月を上回りました(+4.5%)（図3）。
- 令和5年1月のドラッグストア販売額（北海道）は、263億円で、7か月連続で前年同月を上回りました(+10.2%)（図4）。
- 令和5年1月のホームセンター販売額（北海道）は、89億円で、2か月振りに前年同月を下回りました(▲1.2%)（図5）。

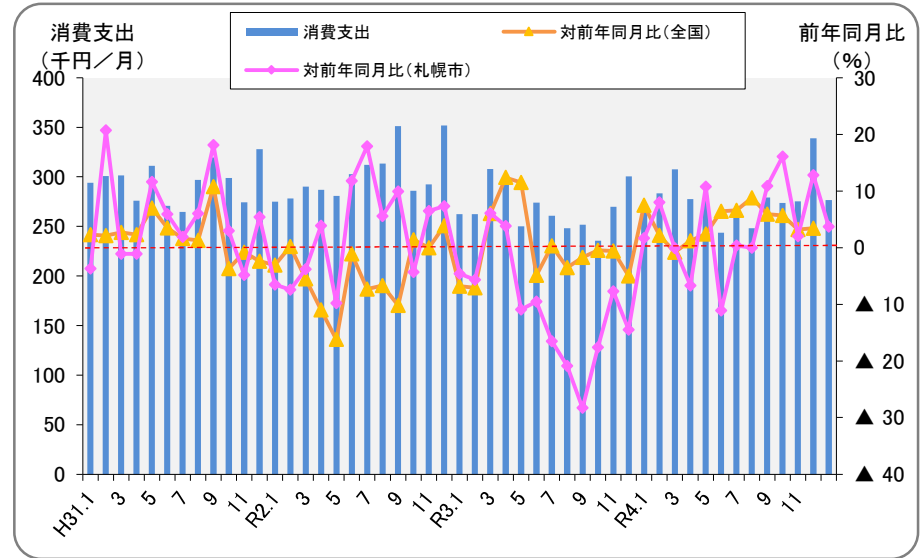
● 個人消費の動向（その3）

【図6】新車登録台数の推移(札幌運輸局管内)1月分



<資料> 自販連札幌支部、全国軽自動車協会連合会札幌地区事務取扱所

【図7】消費支出(札幌市) 1月分



集計世帯数
全国:7,207 札幌市:90

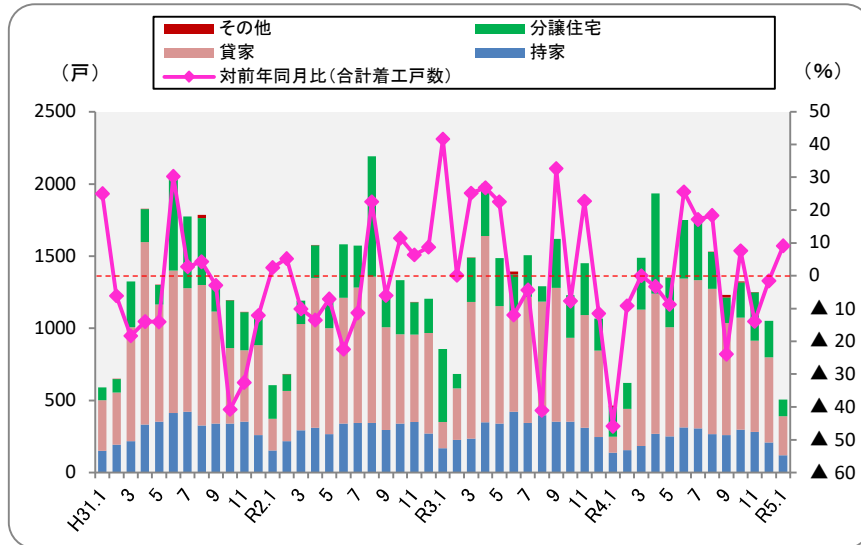
<資料> 総務省統計局「家計調査」

○令和5年1月の新車登録（届出）台数（札幌運輸局管内）は、6,841台となり、5か月連続で前年同月を上回りました（+16.9%）。車種別では、普通乗用車（+34.4%）、軽自動車（+28.4%）が前年同月を上回り、小型乗用車（▲15.4%）が前年同月を下回りました（図6）。

○令和5年1月の家計調査（総務省統計局）によると、一世帯当たり（二人以上の世帯）の消費支出は276,696円となり、前年同月から5か月連続で上昇となりました（+3.7%）（図7）。

● 住宅着工の動向

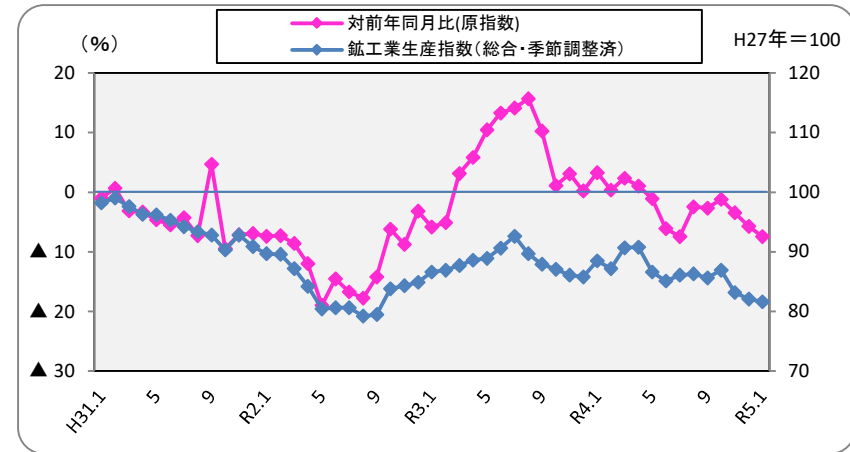
【図8】新設住宅着工戸数の推移(札幌市) 1月分



<資料>国土交通省

● 鉱工業の生産動向

【図9】鉱工業生産指数の推移(北海道) 1月分



* 主な業種別の前月に対する上昇・低下項目(北海道)

	業種	ウエイト(%)	季節調整済指数	前月比(%)
上昇	化学・石油石炭製品工業	7.6	75.7	+ 12.3
	食品工業	25.9	107.9	+ 4.7
	金属製品工業	7.6	76.2	+ 3.8
下降	鉄鋼業	7.9	80.1	+ 3.0
	印刷業	4.1	70.4	0
	パルプ・紙・紙加工品工業	13.1	60.0	▲ 2.4
	輸送機械工業	6.8	70.0	▲ 10.9

ウエイトは鉱工業生産指数(北海道)全体への影響の大きさを表すもの。
上記の7業種については、札幌市の製造業における付加価値額が大きいものから選定した。
<資料>北海道経済産業局

○令和5年1月の新設住宅着工戸数(札幌市)は506戸となり、3か月振りに前年同月を上回りました(+9.1%) (図8)。

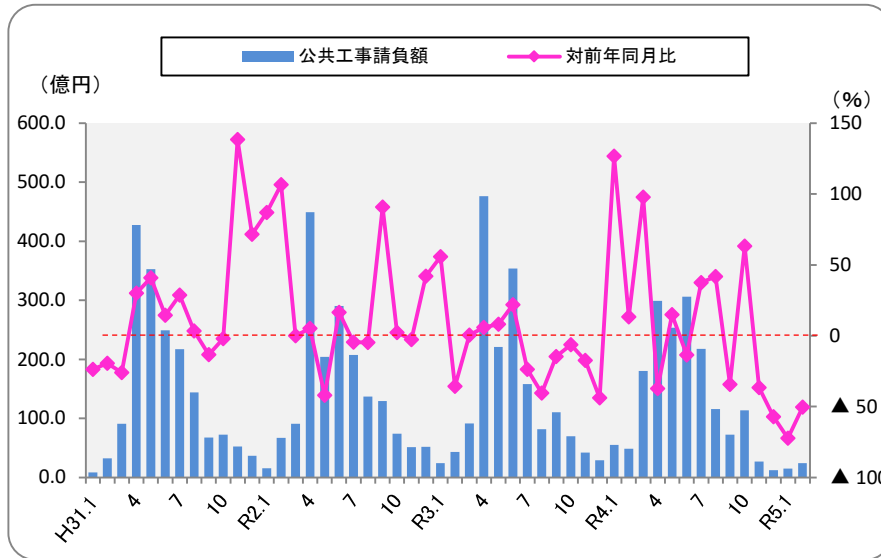
内訳は、持家が▲14.5%、貸家が+149.5%、分譲住宅は▲44.7%でした。

○令和5年1月の鉱工業生産指数(北海道)は、81.6(季節調整済指数、速報値)となり、前月比▲0.6と3か月連続で下回りました(図9)。

なお、前年同月比でも▲7.5%(季節調整を行わない原指数)と下回りました。

● 公共工事の動向

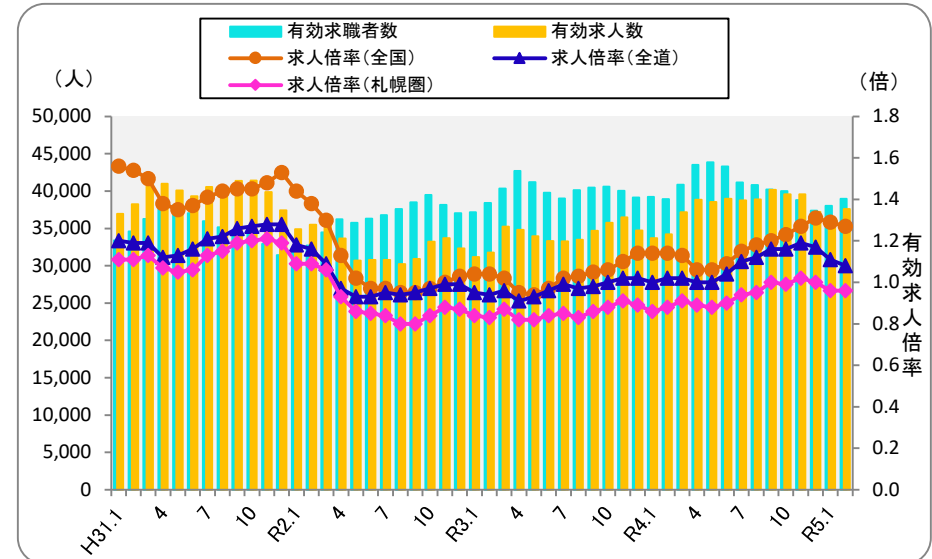
【図10】公共工事請負額の推移(石狩管内) 2月分



<資料>北海道建設業信用保証㈱

● 雇用情勢

【図11】求職・求人、有効求人倍率の推移(札幌圏) 2月分

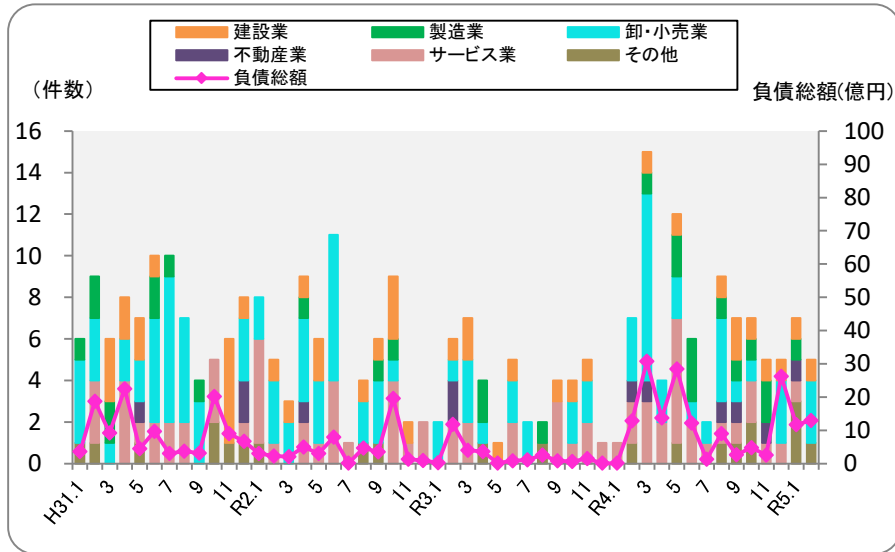


<資料>厚生労働省・北海道労働局
 ※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。
 ※上記数値は、学卒を除き常用パートタイムを含む。

- 令和5年2月の公共工事請負額(石狩管内)は24億円となり、4か月連続で前年同月を下回りました。(▲50.4%) (図10)。
- 令和5年2月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.96と、20か月連続で前年同月を上回りました(+0.08ポイント) (図11)。
- 有効求人数は23か月連続で前年同月を上回りました(前年同月比+9.8%)。また、有効求職者数は6か月振りに前年同月を上回りました(前年同月比+0.2%)。

● 倒産状況

【図12】企業倒産件数と負債総額の推移(札幌市) 2月分



＜資料＞株式会社帝国データバンク
 ※会社更生法、民事再生法、破産法、特別清算による負債額1,000万円以上の法的整理が対象。

○令和5年2月の法的整理による企業倒産件数(札幌市)は5件で、前年同月から2件減少しました。負債総額は12.9億円で、前年同月と同額となりました(図12)。

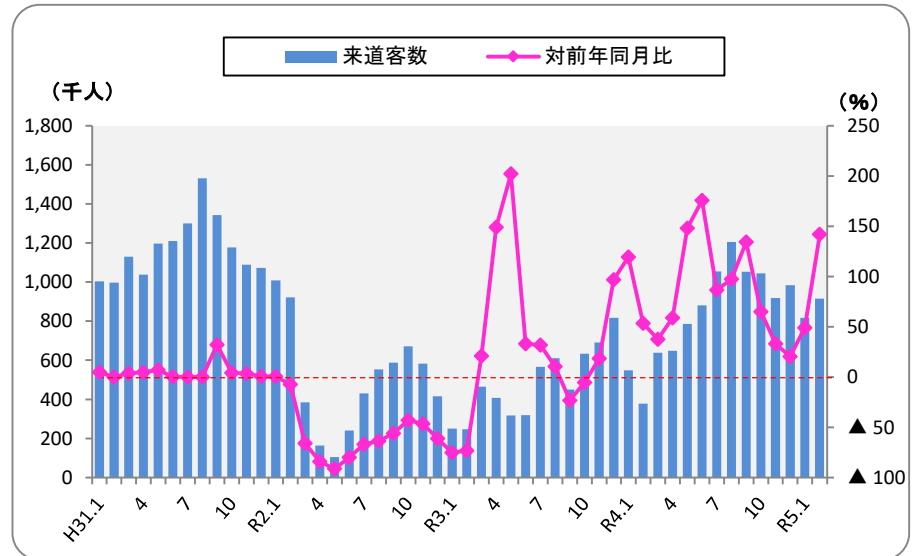
なお、負債額が10億円を超える大型倒産はありませんでした。

○令和5年2月の来道者数(北海道)は91万人で、16か月連続で前年同月を上回りました(+141.9%)(図13)。

【参考】令和5年2月の外国人入国者数(新千歳空港)は11万でした(図14)。

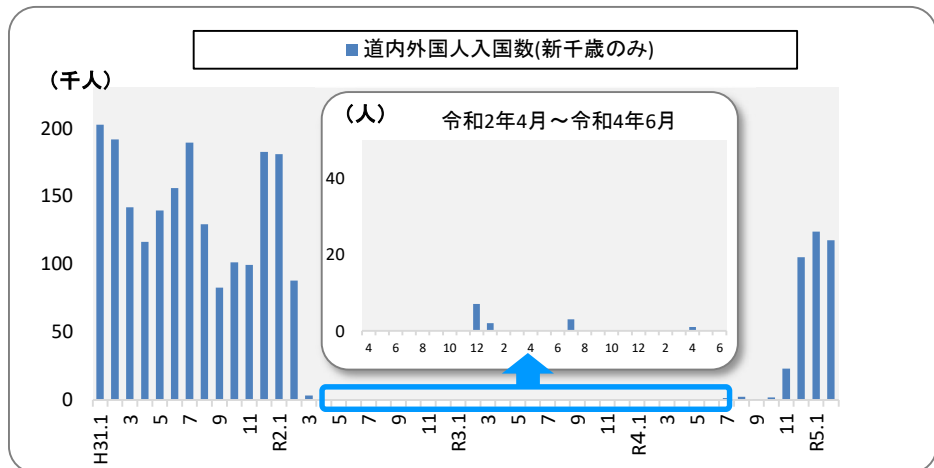
● 観光客の動向

【図13】来道者数の推移(北海道) 2月分



＜資料＞(公社)北海道観光振興機構

【図14:(参考)】外国人入国者数(新千歳空港)2月分



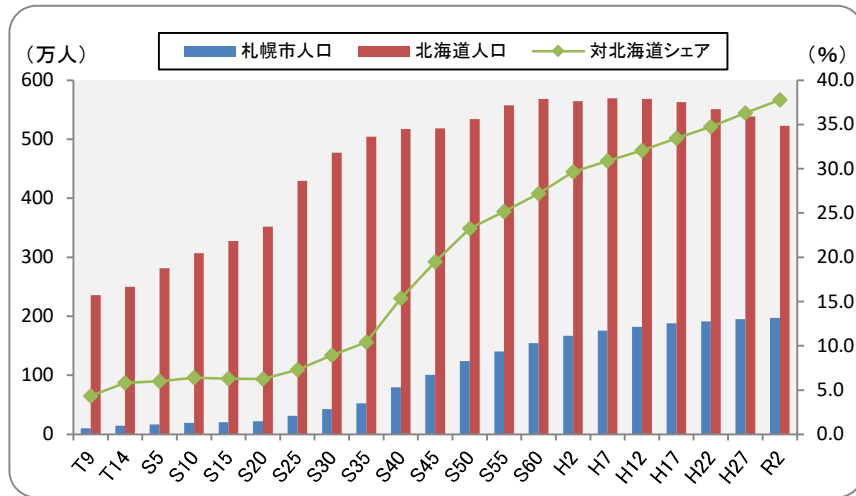
＜資料＞出入国管理統計統計

3. 札幌の産業規模

札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」等の分野ごとに紹介します。

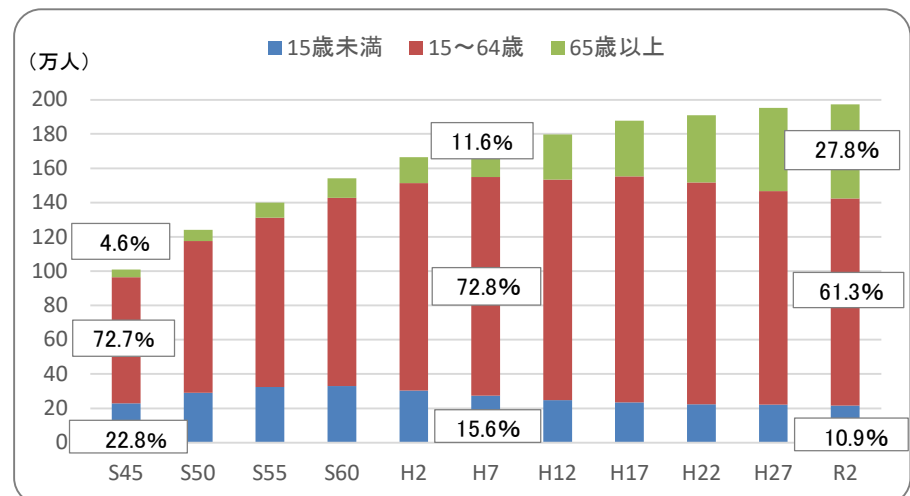
● 札幌市の人口

【図15】札幌市・北海道の人口の推移(外国人を含む)



<資料>総務省統計局「国勢調査」、北海道総合政策部地域行政局、札幌市まちづくり政策局政策企画部 (人口数は各年10月1日現在)

【図16】札幌市の年齢別人口の推移(外国人を含む)



<資料>総務省統計局「国勢調査」、札幌市まちづくり政策局政策企画部 (人口数は各年10月1日現在)

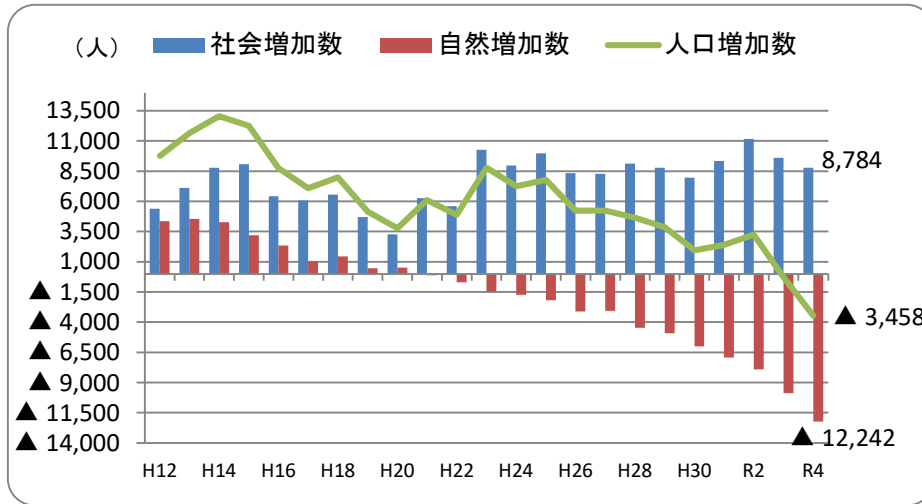
○国勢調査による5年毎の人口推移をみると、近年、札幌市は人口増加率が鈍化傾向にあります。また、札幌市の人口の対全道シェアは年々高まっており、令和2年は37.8%となっています(図15)。

○また、5年毎の年齢別人口の推移を見ると、65歳以上の人口の割合が増加する一方で、15歳～64歳の生産年齢人口の割合が減少する傾向が続いています(図16)。

3. 札幌の産業規模

札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」等の分野ごとに紹介します。

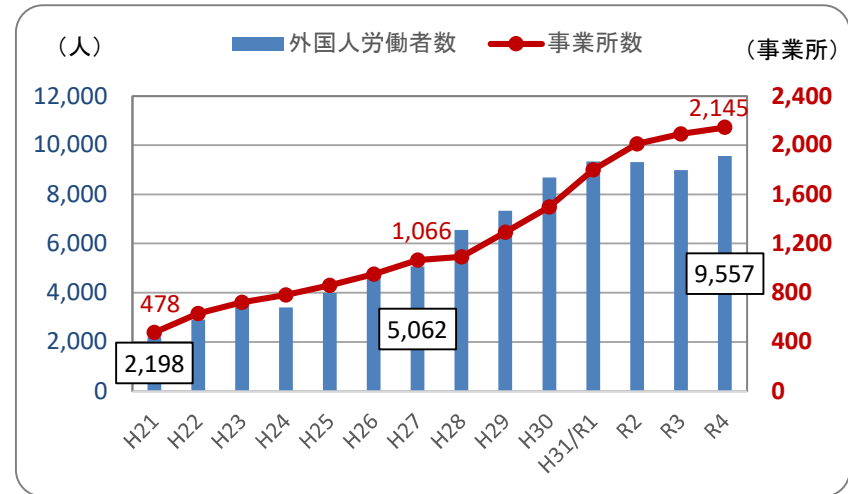
【図17】札幌市の人口動態の推移(日本人のみ)



<資料>札幌市住民基本台帳

● 札幌圏の外国人雇用状況

【図18】札幌圏の外国人雇用事業所数及び外国人労働者数



<資料>厚生労働省北海道労働局「外国人雇用状況の届出状況」
(各年10月末現在)

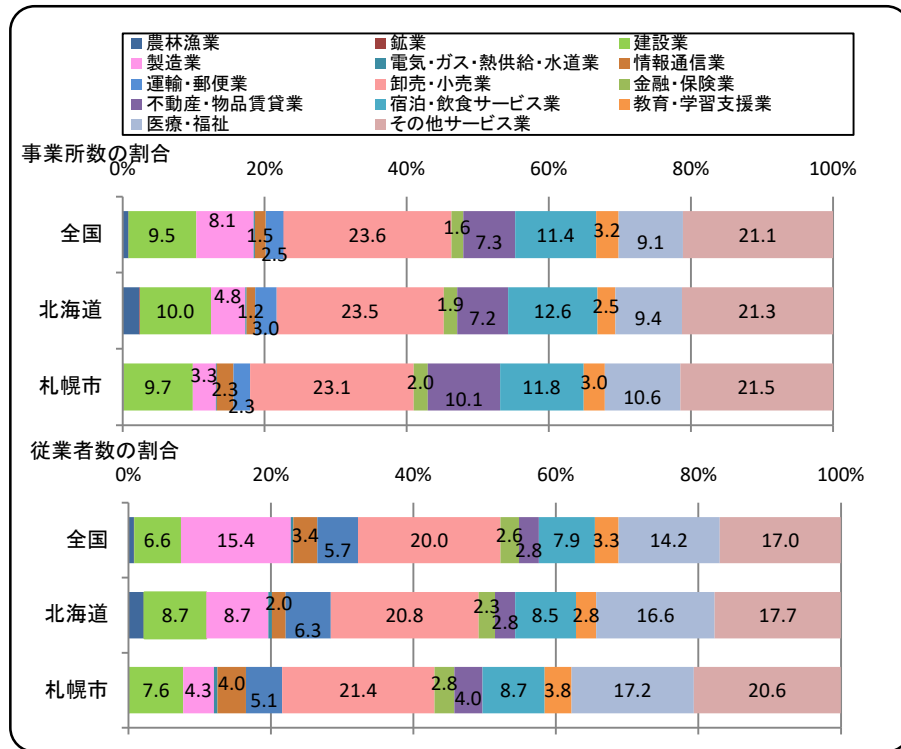
※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。

○住民基本台帳による近年の人口動態の推移をみると、自然増加(出生-死亡)は平成21年からマイナスに転じており、少子化傾向が表れています。その一方、社会増加(転入-転出)は平成24年から概ね8千~9千人台の規模で推移しています。令和3年には自然減少数が社会増加数を上回ったことで人口減少に転じ、令和4年も自然減少数(▲12,242人)が社会増加数(+8,784人)を上回り、人口減少(▲3,458人)が進んでいます。(図17)。

○また、札幌圏の外国人雇用状況の推移をみると、近年、外国人雇用事業所数及び外国人労働者数はともに増加傾向にあり、外国人労働者数は令和2年、令和3年に減少しましたが令和4年は増加に転じ、過去最多(9,557人)

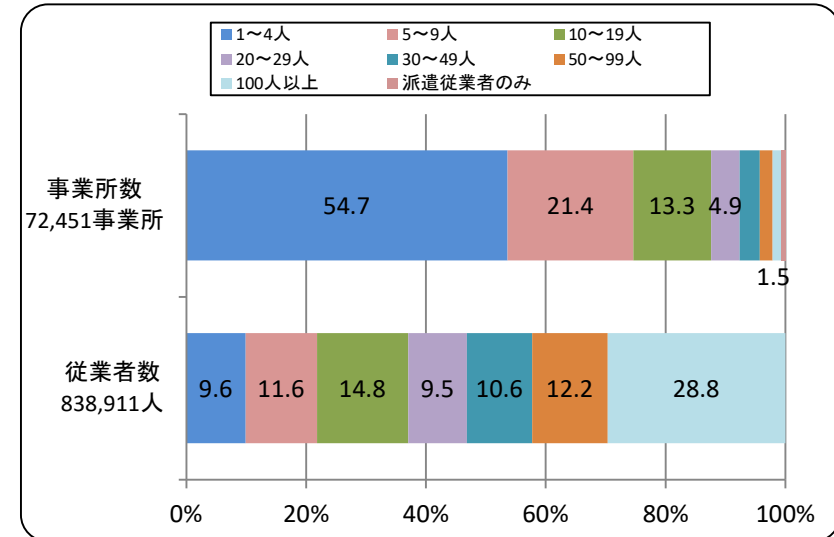
札幌市事業所数・従業者数

【図19】事業所数と従業者数の産業別内訳(民営)(令和3年6月1日現在)



<資料>総務省統計局 令和3年「経済センサス活動調査(速報値)」

【図20】従業者規模別事業所数及び従業者数の割合(民営)(平成28年6月1日現在)



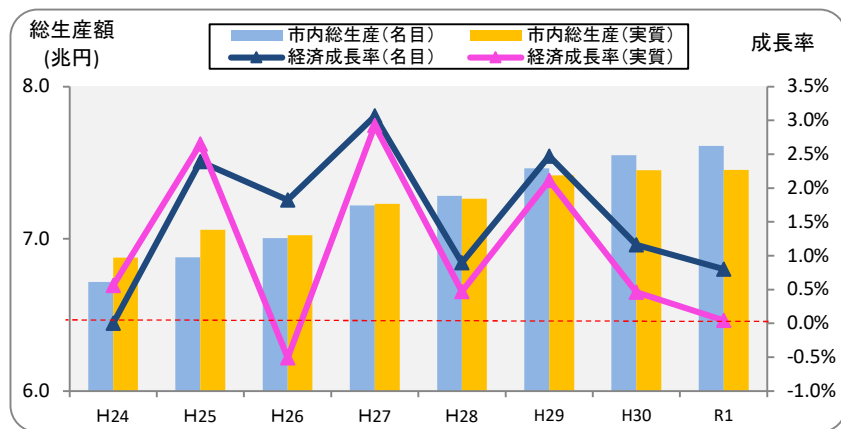
<資料>総務省統計局 平成28年「経済センサス活動調査」

○札幌市の産業構造は、事業所数、従業者数とともに、全国に比べて製造業などの2次産業の割合が低く、3次産業が中心となっています(図19)。

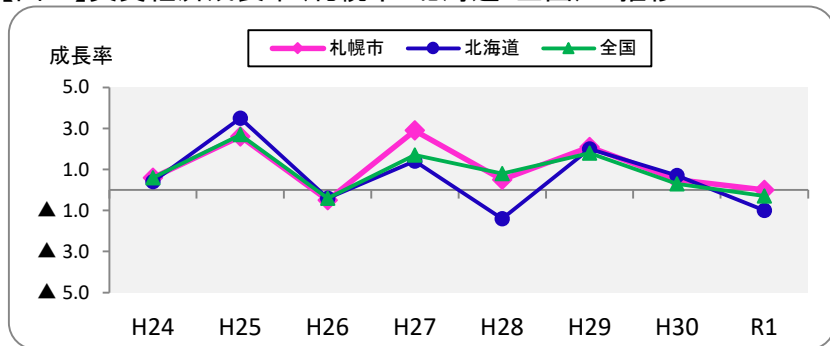
○従業者規模別に札幌市の事業所数をみると、従業者「1~4人」が全体の53.6%と半数以上を、事業所規模9人以下の事業所が、事業所全体の約4分の3を占めています。また、「100人以上」の事業所は、事業所数では事業所全体のわずか1.4%ですが、従業者数では約3割を占めています(図20)。

札幌の市内総生産・市民所得

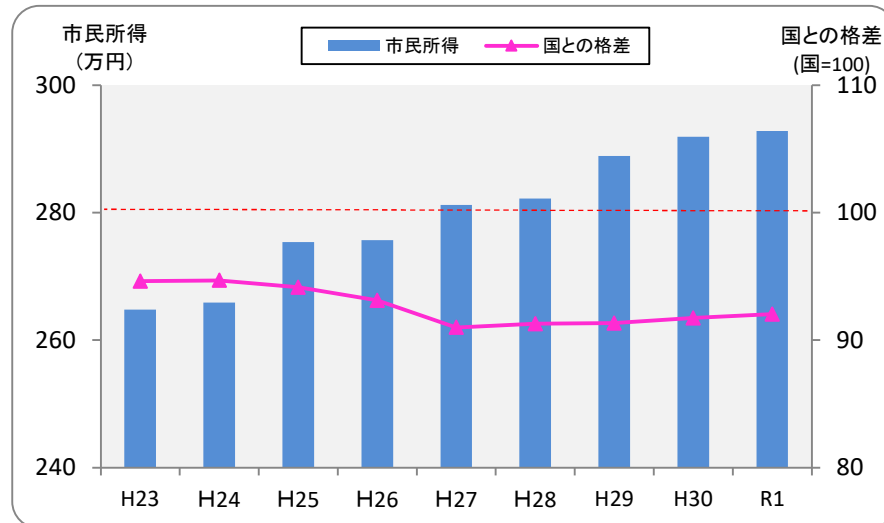
【図21】総生産額・経済成長率の推移



【図22】実質経済成長率(札幌市・北海道・全国)の推移



【図23】札幌市の一人当たり市民所得と国民所得との格差の推移

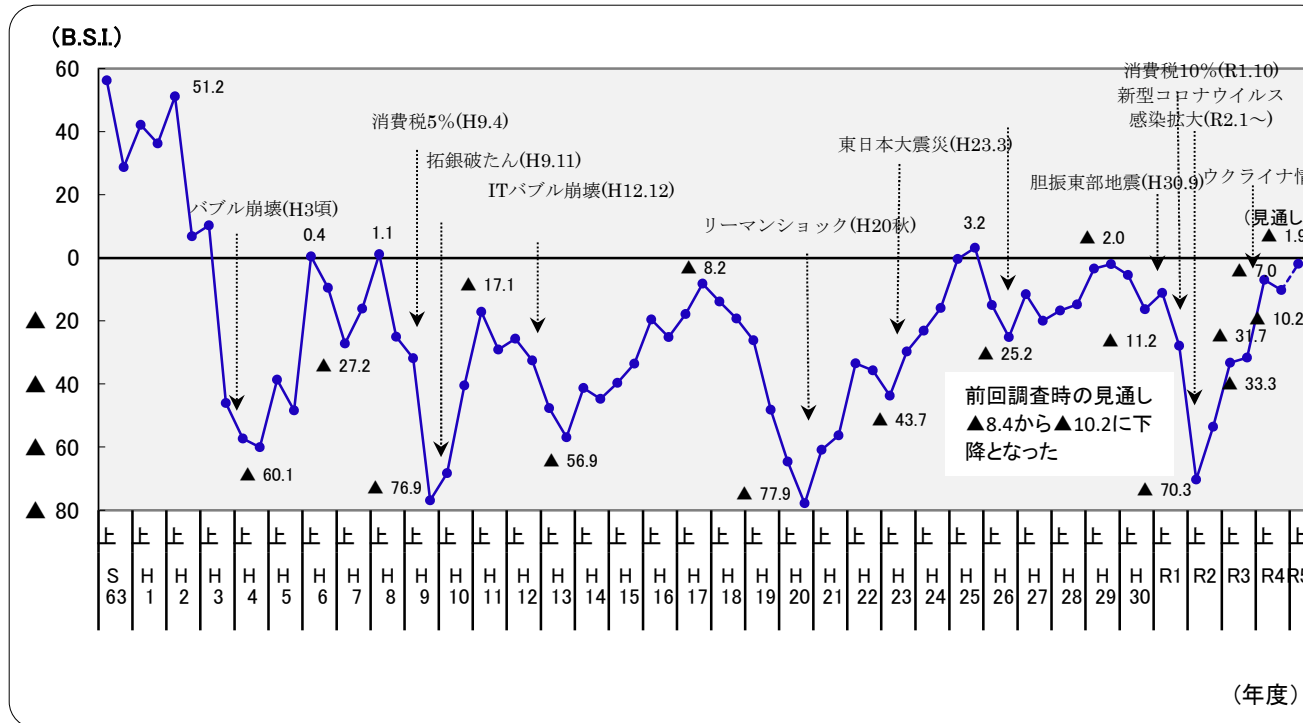


<資料>内閣府「令和元年度国民経済計算」、北海道「令和元年度道民経済計算」、まちづくり政策局政策企画部「令和元年度札幌市民経済計算」

- 令和元年度の札幌市の市内総生産は、名目7兆6100億円（経済成長率+0.8%）、実質7兆4530億円（経済成長率+0.0%）です。名目は8年連続のプラス、実質は5年連続のプラスとなっています（図21）。
- 令和元年度の実質経済成長率は、札幌市+0.0%に対し、全道▲1.0%、全国▲0.3%となっております（図22）。
- 令和元年度の市民1人当たりの市民所得は、2,928千円で5年連続で増加（+0.3%）となりました。
また、札幌市の1人当たり市(国)民所得の対全国比(全国=100)は92.0で、前年度と比べて0.3ポイント上昇しました（図23）。

● 市内企業の景況感

【図24】企業経営動向調査の結果



※B.S.I.(景況判断指数)
 景気が前期と比較して、「上昇している」と回答した企業の割合から「下降している」と回答した企業の割合を差し引いた数値。札幌市では、毎年度2回調査を実施している。

○令和4年度下期（R4年10月～R5年3月）の市内の景気について、令和4年度上期に比べて「上昇」とみる企業の割合（20.0%）から「下降」とみる企業の割合（30.2%）を減じた市内景況判断B. S. I. は、▲10.2であり、5期ぶりに下降に転じました。（図24）。

○令和5年度上期（R5年4月～R5年9月）の市内の景気の見通しについて、今期に比べて、「上昇」とみる企業の割合（20.4%）から「下降」とみる企業の割合（22.3%）を減じた市内景況判断B. S. I. （見通し）は▲1.9となり、今期（▲10.2）と比べて上昇する見通しとなっています（図24）。

